



学校と地域をつなぐ



スクール・コーディネーター

スクール・コーディネーターとは

地域で青少年の育成活動の経験がある方の中から、新宿区教育委員会が委嘱して、区立小・中学校に1名ずつ配置する非常勤の公務員です。

学校と家庭と地域が連携して、児童・生徒の学習活動を支援できるようにコーディネートすることが目的です。

週1回程度、学校を訪問します。学校や地域とコミュニケーションを図り、学校の希望や地域の特色に合わせてさまざまな活動をしています。

スクール・コーディネーターは学校と地域の架け橋です。
子どもたちのために、地域の方々の信頼とご協力を得ながら、日々奮闘しています。

スクール・コーディネーターの主な活動

●学校の教育課程の支援をします

学校の要望に沿って、総合的な学習の時間などの講師として地域の方々を紹介したり、職場体験の際にご協力いただく事業所との調整をしたりします。

学習支援の提案や地域の情報を提供して、児童・生徒の教育環境がより充実したものとなるように活動します。

●学校行事等の支援をします

学校行事やクラブ活動などの指導者を紹介したり、スポーツ活動や花壇の手入れなどの活動を地域の皆さんでサポートしていただくお手伝いをしたりします。

放課後や休日に学校施設を利用した地域の子どもの事業に協力します。

●家庭教育の支援をします

PTAの自主事業や、家庭教育講座の支援をします。



新宿区教育委員会

スクール・コーディネーターの活動を紹介します

令和6年度の活動内容です。

「オリンピックを迎えて」 早稲田小学校

早稲田小学校出身の東京2020オリンピック陸上女子1500メートル日本代表の^{うらべらん}ト部蘭さんをお招きし、早稲田幼稚園児との交流、5、6年生への東京2020オリンピックについての講話をしていただきました。ト部選手は早稲田小在学中から俊足で、マラソン大会では毎年優勝していました。その頃の写真や、オリンピック選手村で過ごした時の写真などを見せていただきながら、児童の目線に立った親切で分かりやすい講義をしてくださいました。素晴らしいアスリートであるばかりでなく、利発で明るい素敵な人物に成長された卒業生の姿に、児童も教職員も皆大きな感動を覚えました。



早稲田小マラソン大会で1位表彰されるト部さん(6年生時)

「熟議をしよう」スクール・コーディネーター定例会

「熟議」とは、多くの当事者が「熟慮」と「議論」を重ねながら、共通認識・課題解決をしていくことです。

- (1) 多くの当事者(学校・保護者・地域の皆様)が集まって
 - (2) 課題について学習・熟慮し、議論をすることにより
 - (3) 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに
 - (4) 解決策が洗練され
 - (5) 個人が納得して自分の役割を果たすようになるというプロセスです。
- やり方は、グループごとにファシリテーターという進行役を選び、ファシリテーターのリードのもとで話し合う問題について、
- 参加者はそれぞれ思ったことを付箋一枚に一つだけ記していきます。
 - 集まった付箋の共通なものをグループ化します。
 - グループ化された問題について協議し解決策を書き出します。
 - 解決策の中で良いと思う案を選び優先度を決めます。
 - 発表して決定します。

スクール・コーディネーターは「熟議」をはじめたばかりですが、回を重ねながら地域・学校の問題について共通認識が深まっていくことを実感しました。まれに発言力の強い人にリードされがちな会議とは異なり、参加者の考えが上下なく並べられ検討され採用されていくことが「熟議」の素晴らしい点であると理解できました。



「戸二小大根」 戸塚第二小学校



体育館の裏にある戸二農園で大根をつくっています。(450本)

小学校・幼稚園・地域みんなで育てます。

7月～8月に耕運機で畑を何度も耕して土作りをし

9月初旬に児童一人一人種をまきます。
収穫までの間、観察をし

5年生を中心に間引き・草取り・水やりをし

1月に各自抜いて家に持ち帰り、料理します。

その後、何を作ったか報告をします。



「防災訓練」 牛込第一中学校

「高きにありて青空望む」で校歌が始まる牛込一中は、地域の象徴として昭和22年に開校しました。

牛込一中は建替えが予定されていますが、新しい校舎に生まれ変わっても、中学校としての役割だけではなく地域の災害対応のさまざまな活動の拠点としての役割も必然と兼ね備えます。

当校は現在も地域の避難所の役割を果たしていることから、第1学年には避難所設営訓練をカリキュラムに盛り込むなどして初期消火訓練、包帯法(三角巾取り扱い)訓練、炊き出し訓練、AED取り扱い訓練等を行い、甚大な災害が発生した時等には自発的に避難救助活動を行う意識を育む教育を行っています。その根底にあるものは、災害時、地域の人々や遠くから避難所を頼ってくる避難者に対し思いやりの心で接したいという生徒の気持ちです。

